

77. ^{ひがしめすじ}東目筋・^{おおくちすじ}大口筋

選定箇所：^{しらかねさか}白銀坂（鹿児島市～始良市）、^{たつもんじざか}龍門司坂（始良市）

概要：東目筋は、薩摩藩鶴丸城下から日向へ向かう道として、大口筋は同城下から薩摩藩北部中央にある大口を經由して肥後水俣に通じる道として整備され、薩摩藩主の参勤交代や巡視、物資の輸送、連絡道として利用された。

白銀坂は約1.5 km、龍門司坂は約0.5 km にわたりそれぞれ当時の石畳の坂道が残されている。特に白銀坂はかつての薩摩国と大隅国との国境に位置する重要な街道としての面影をよく留めており、当時の景勝地等を記した「三国名勝図会」には藩内随一の難所として記載されている。



白銀坂



龍門司坂

(写真提供: 始良市教育委員会)